≪本校におけるピア・サポート活動の考え方≫

自尊感情と人間関係力の育成

他者との関係の中で、自分の存在を価値あるものと受け止める

培われていく人間関係力

6年

ペア学年のお世話活動や縦割り班活動のリーダー的役割を通して、誰かの役に立っていることを自覚し、自信や誇りを持つことができるようにする。
自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばそうとする気持ちや態度を育てる。
より良い自分になろうとする気持ちや態度を育てる。

5年

4年

保育園児や下級生のサポート活動を経験し、自分も誰かの役に立つことができるという気持ちをもたせる。
自分にはいいところがありそれを伸ばそうという気持ちをもたせる。
『よりよい自分になれる』という自信をもたせる。
誰かの役に立てる自分を自覚する。

3年

2年

1年

≪自尊感情の芽生え≫

大切にされているという思いや安心感を味わう。
自分にはよいところがあると気づく。
『よりよい自分になれる』ことに気づく。
誰かのために何かをする喜びを味わわせる。

＜サポートされる活動を通して＞

・自分が大切にされているという思いを育む。
・居場所があるという安心感をもつ。
・支えてくれる上級生に対して、「あこがれの気持ち」をもつ。
・自分も今度は、誰かの役に立ちたいという気持ちを育む。

＜縦割り班活動を通して＞

・上級生の様子を見ながら、人との関わり方を学ぶ。
・学年に応じた役割を与え、サポートの仕方を学ぶ。

＜ソーシャルスキルトレーニングを通して＞

・人とのより良い関わり方を学ぶ。

＜地域の方との関わりを通して＞

・いろいろな人との関わり方を学ぶ。

体験的な活動とたくさんの人との豊かなかかわり